

9 / 1 2 (土) ワークショップ型レクチャー 「男鹿半島空き家ツアー」にご参加の皆様へ

この度は平成 27 年度文化芸術推進事業「ローカルメディアと協働するアートマネジメント人材育成事業」における活動事業「地域課題研究とウェブメディアによる発信」へのフィールドワークツアーにご参加いただき誠にありがとうございます。

今回ツアーコーディネーター及び講師を務めさせていただく事になりました男鹿半島でカフェを営んでいる『里山のカフェ ににぎ』の猿田 真（さるた まこと）と申します。
宜しくお願い致します。

男鹿半島北部にあたる男鹿市北浦地区も人口減少や流出問題など多くの課題を抱えております。今回の事業実施場所となった背景には、いくつか理由がございますが、そのひとつとして、高度経済成長期以降、観光地として知られてきたこの男鹿半島は、ここ数年で観光の受け皿が急激におとろえている傾向が見られ、時代や価値観の変化、経済的理由や人口流出など様々な理由と共に地域の高齢化や少子化も進み、民間事業や地場産業 更に人口減少にも歯止めがかかっていないのが現状です。また、それと同時に地域にまつわる伝統行事やお祭りなども行われなくなってきました。

いくら地域資源や文化を活かした観光地と言えど「観光事業の目的」が主となり、「本来の文化」が途絶えてしまつては本末転倒です。しかし、近年はそれが現実味を帯びています。

例えば一部の地域で行われなくなってきた「大晦日のなまはげ行事」は、その地域に人々が住み、生活の営みや交流、地域への恩恵があるからこそ続けられてきました。農林漁業者や個人事業主が多かった昔と比べ、現在は若者が地域の行事に参加出来ず、その主な理由として、会社勤務をしている若者が増え、自分の意志では地域の行事に参加出来ない事が背景にあります。しかし、こういった行事（例：お祭り、ゴミ拾い、墓地の管理など）が行われなくなると、地域の交流が希薄になり、そこで暮らしていく意味もまた失われ、自ずと人口が流出し、集落の過疎化が進みます。

世界中で観光の誘致が激しく競い合われている中、今までのような観光 PR や方法では他所と比較すればそれを経済的基盤として地域の活性化を計る事は非常に厳しいと感じております。が、まだ可能性は残されております。

そこで一旦「観光」という視点から視線を移し、
古い時代から続いて来た地域の暮らしや営みに改めて目を向け、
「なまはげ」をはじめとする地域の行事とロケーション、その根底にある文化を大切に残しつつも、
これまでとは別の視点でクリエイト(創造)し、地域に人の営みを産み出せないかと考えました。

そのひとつとして、考えられるのが地域で増え続ける「空家」を活用した取り組みです。

過去にも例がある様に、大企業誘致による雇用は景気の流れに左右される為、そこで働く人達が地域に根付く様な事は現実的に厳しく、また、従来から農家がいるにも関わらず農地を持たない農業移住希望者には例え国の助成事業があったとしてもその条件やハードルが高く、現実的にも難しいものがありました。

そこで、アイデアのひとつとして、家1軒(空家)や工房(小屋)等をあれば、
工芸作家(木工・陶芸・硝子・金工、他)やデザイナーとして仕事を有する方達の
活動拠点に変える事が可能ではないかと考えました。
地元根付く移住者をそうした方達に絞って、集落に移り住んでいただく事で、空家問題をはじめ、
地域の伝統行事や文化を残していく事にも繋がります。また、地域の高齢化や少子化にも歯止め
がかかり、
また、移住した工芸作家やデザイナー(勿論、アーティストや料理研究家 等も歓迎)が産み出
していく場所が、
「ものづくりの集落」となり、自ずと観光の進行にも繋がるのではないかと考えております。

秋田県内には素晴らしい観光スポットや魅力が沢山ありますが、残念ながら、観光客の立場から
すれば、
ほとんどのお客様は仕事の休暇中に、一泊二日や二泊三日の弾丸ツアーで旅をします。
秋田でも最も知名度の高い観光施設「なまはげ館・男鹿真山伝承館」、そして古くから伝わる歴史や土着文化、民間信仰の名残を残す「真山神社」というストロングポイント(強み)を活かし、
その麓の真山・安全寺・北浦地区等の集落を移住者の活動拠点にする事で、そこから産み出された
地元の工芸・民芸品を展示・販売し、観光客のお土産や地元の方達の民芸品としてご購入いただく事なども望ましいと考えております。

現在、他県の一部地域では空家をテーマ・拠点とした事業も行われ、
理解も少しずつ広がってきてはいますが、その考えや普及はなかなか進んでいないのもまた事実

です。

空家が活用されない理由として

- ・ 物件の状態が悪く、住んだり貸したりするには困難。
- ・ 神棚や仏壇、ご先祖様の遺物と供養の問題
- ・ 物件の所有者や管理者との連絡がとれない。
- ・ 親族や家族、近隣との様々な関係事情や背景
- ・ 地域の人達の高齢化による理解の無さやあきらめ。
- ・ 所有者が売買や賃貸により借り手の希望よりも高い利益を望む。
- ・ 管理もせず 散らかった家や敷地を他人に見せるのは恥ずかしい。

などがあります。

ここにあげた例はほんの一部ですが、空家を取りまく環境や理解を広く進め、今回の事業を通じて、地元の方達や参加者の皆様と共にツアーを体験していただく事でこの地域で何が出来るか、また今後の地域の在り方について参加者の皆様の考察を促すことが出来れば良いと考えます。

また当日はスケジュールの都合により、空家を巡る件数はそう多くはありませんが、地元の古い文化などを交えて地域の歴史や現状を説明させていただきたいと思っておりますので

宜しくお願い致します。

過去の時代背景や地域の問題と向き合う事で地域文化の存続と発展が叶えば良いと心より願います。

9 / 12 (土) 男鹿半島空き家ツアー

ツアーコーディネーター・講師 / 里山のカフェ ににぎ 猿田 真

(現地案内人)

- ・ 雲昌寺・・・古仲宗雲／副住職（曹洞宗）※不在の場合は講師が代役を務めます。
- ・ 真山神社・・・神職または巫女が案内して下さいます。